

ニールセン株式会社
LINEの利用者割合が大幅に上昇、Facebookも引き続き増加
～ スマートフォン・メディア利用実態調査レポート6月版より抜粋 ～

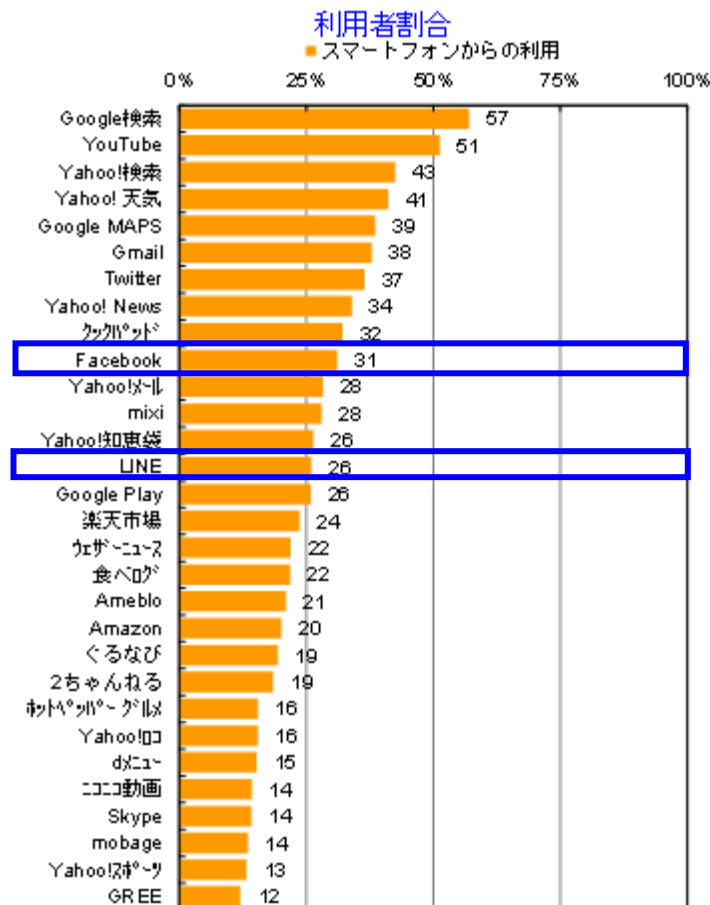
メディア視聴行動分析サービスを提供するニールセン株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役会長兼CEO:福德 俊弘)は、スマートフォン・メディア利用実態調査レポート(2012年6月版)より、スマートフォン利用動向のトピックスをまとめました。

1. Facebook、LINE、スマートフォンとの相性の良さが顕著に

「よく利用するウェブサイト:トップ30」では、前回調査時と比較し Facebook(今回:10位、前回:12位)が初のTOP10入りした。

特に利用率の上昇が大きかったのはLINEで、今回は14位と前回24位から大幅に順位を上げた。

図表1:よく利用するウェブサイト:トップ30 [スマートフォンからの利用] 利用者割合



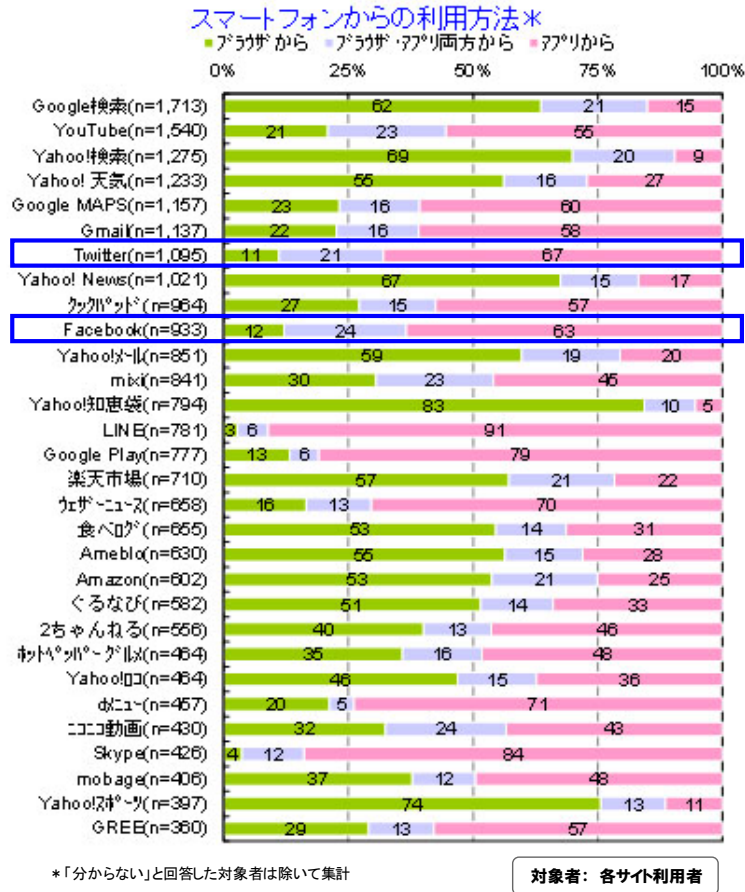
※ Google playは前回までのAndroid marketと同義

対象者: スマートフォンからのインターネット利用者 (n=3,001)

2. Twitter、Facebookはアプリから使用する割合が高い

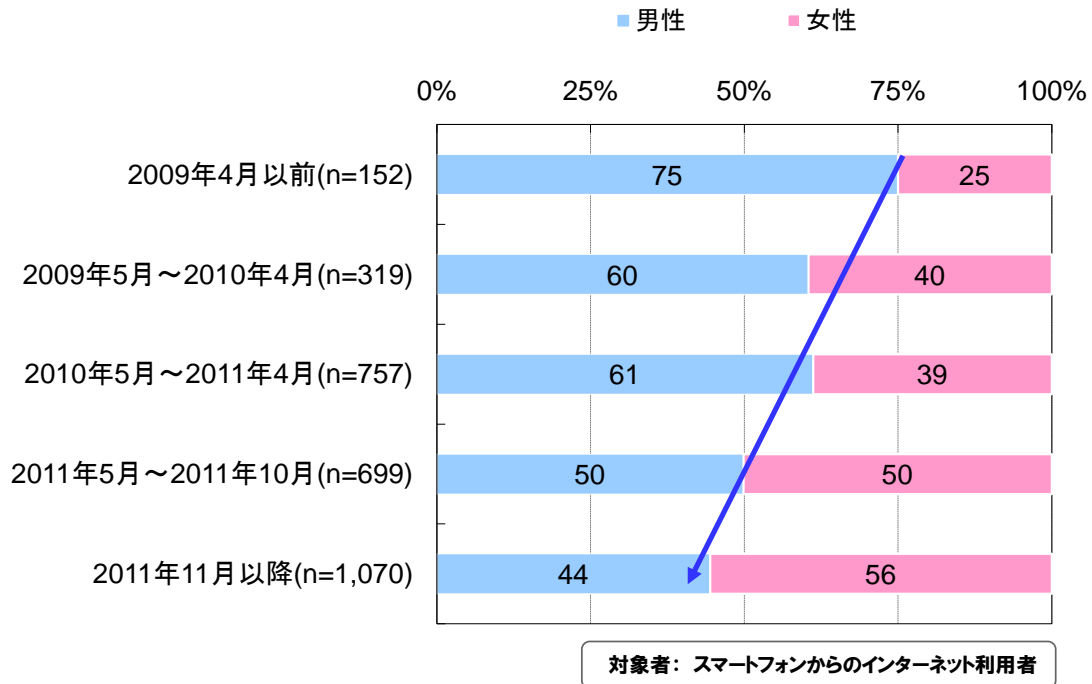
「よく利用するウェブサイト:トップ 30」においてスマートフォンでの利用方法の内訳を見ると、Facebookはアプリからの利用が87%とアプリとの相性が良いことがわかる。また、Twitterも同様の傾向でアプリ利用率が88%とFacebookと同様の結果となった。

図表2:よく利用するウェブサイト:トップ 30 [スマートフォンからの利用] 利用方法



3. 最近6ヶ月以内のスマートフォン利用開始者の割合では、初めて女性が男性を上回る
 スマートフォンを初めて利用した時期(性別)では、調査の度に女性利用者の割合が増加傾向であったものの、最近6ヶ月以内の利用開始者の割合では、今回の調査で初めて女性が男性を上回った。

図表 3: 初めてスマートフォンを利用した時期(性別)



弊社シニアアナリストの中村義哉は「四半期ごとに5回実施してきた同調査ですが、最近6ヶ月以内にスマートフォンを利用し始めた人の割合で、今回初めて女性が男性を上回りました。加えて、特に20代女性のスマートフォンからのオンラインショッピング利用率も増加傾向にあり、今後注目すべきセグメントといえます。また、LINEの利用率の大幅な増加も注目すべき点です。SNSの動向が大きく注目されている中で、通話、メールという従来型のコミュニケーションに焦点を絞り、スマートフォンでの利用を前提として作られたサービスにも関わらず、多くの利用者を獲得してきました。スマートフォンはすでに生活のあらゆる場面で活用されており、生活者の行動に直結した形で利用されています。LINEのように従来型コミュニケーションに特化するなど、今後は生活者がスマートフォンを利用するシーンの一部を切り取り、それをサポートするサービスを展開することが、より重要になってきています」と述べています。

「スマートフォン・メディア利用実態調査レポート」概要

1. 2 スクリーンでのインターネット利用動向の把握

PC及びスマートフォンでのインターネット利用実態を、アンケート調査とインターネット基礎調査（*1）、を用いて分析

2. スマートフォンの利用実態の詳細把握

スマートフォンにおける、利用機種、用途、利用シーン、利用ウェブサイト、利用コンテンツ(SNS、EC、検索等)、アプリの利用状況、利用シーンにおけるPCとの使い分け、といった詳細の利用実態の把握

3. 包括的なインターネット利用動向の定点観測

変化の激しいインターネット利用実態とスマートフォン利用動向を、四半期ごとの定点観測調査で継続的にトラッキング

*1: 日本の消費者のインターネット利用動向を把握するためニールセン株式会社で独自に行っている、RDD(Random Digit Dialing)方式による定点観測電話調査。日本の国勢調査を基に、消費者のインターネット接続状況を1999年から継続的に調査している

<調査仕様>

調査方法: インターネット調査

調査時期: 2012年5月21日 ~ 5月23日

調査地域: 日本全国

設問数: 68問 スクリーニング10問+本調査58問

調査対象: 13歳~69歳男女(本人名義でスマートフォンを個人契約し、かつ利用していること)

対象者数: 約3,000サンプル

対象者割付: 集計時にスマートフォン所有者の人口構成比に応じてウェイトバック集計を実施

<調査内容>

本調査

1. インターネットの利用状況
2. スマートフォンの利用状況
3. ウェブサイトの利用状況
4. オンラインショッピングサイトの利用状況
5. SNSサイトの利用状況
6. アプリケーションの利用状況
7. 広告のクリック有無
8. ユーザーのプロフィール

<納品形態>

PDFレポート(約100ページ)、及びエクセルファイルでのクロス集計表及びローデータ

<価格>

500,000円(税別)



【ニールセン株式会社(旧ネットレイティングス株式会社) 会社概要】

会社名: ニールセン株式会社(旧ネットレイティングス株式会社) 英文社名: Nielsen Co., Ltd.

本社所在地: 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-25-18 渋谷ガーデンフロント

資本金: 1 億円

設立: 1999 年 5 月

代表者: 代表取締役会長兼CEO 福德 俊弘

代表取締役社長兼COO 武智 清訓

主要株主 :ニールセン、トランスコスモス株式会社 など

ニールセン株式会社 (旧ネットレイティングス株式会社)はニールセン、トランスコスモス株式会社などの出資による合弁会社です。ニールセンの消費者視聴行動分析部門の日本法人として、視聴者分析、広告分析、ソーシャルメディア分析の3つのソリューションを通じて、お客様のビジネスにおける重要な意思決定を支援するデータ、分析、インサイトを提供しています。製品やサービス、及び分析結果のインサイトについては、広告主企業、メディア運営企業、Eコマース企業、広告会社より高い信頼性の評価をいただいております。ニールセン株式会社のサービス概要、及び会社概要は、<http://www.netratings.co.jp/> でご覧いただけます。

ニールセンの消費者購買行動分析部門は、**ニールセン・カンパニー合同会社**です。

消費者調査、ショッパー調査、メディカルリサーチ、販売予測、マーケティング ROI 分析、コンシューマーニューロサイエンス分析、海外市場情報提供などを行っています。ニールセン・カンパニー合同会社のサービス概要、及び会社概要は、<http://jp.nielsen.com/site/index.shtml> でご覧いただけます。

ニールセンについて

ニールセン・ホールディングス N.V. (NYSE:NLSN)は世界的な情報・調査会社で、マーケティング及び消費者情報、テレビ等のメディア情報、オンライン情報、モバイル情報、トレードショーやそれに関連した分野でリーダー的地位を確立しています。アメリカ・ニューヨークとオランダ・ディーメンに本社を持ち、世界 100 カ国以上でビジネスを展開しています。詳細は、ホームページ(www.nielsen.com)をご覧ください。

ニールセン株式会社(旧ネットレイティングス株式会社)が提供しているソリューションと主な製品サービス

視聴者分析ソリューション

インターネット視聴率データ Nielsen NetView、
スマートフォン・メディア利用実態調査レポート
インターネット基礎調査レポート Nielsen BasicReport など

広告分析ソリューション

オンライン広告統計データ Nielsen AdRelevance、Nielsen AdRelevance Expenditure
広告効果分析サービス Ad Effectiveness など

ソーシャルメディア分析ソリューション

ソーシャルメディア分析サービス Nielsen BuzzMetrics
ソーシャルメディア分析ツール Nielsen My BuzzMetrics など

#

本件に関するお問い合わせ先:
ニールセン株式会社 広報担当 小宮山 聖花

電話:(03)4363-4200

e-mail: jpw_press@nielsen.com